

事業所名

もこもこ倶楽部デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8年

4月

1日

法人（事業所）理念	「家族のような温かい関係性」 「生き抜く力」 「自立した生活」		
支援方針	子どもの「自立」を支える。「自信」をつける。「夢」を見つける。 就労に繋がるような職場体験、生活に必要なスキルを身に付ける。様々な取り組みで「出来る」を見つけて自信をつける。 自信がつくとチャレンジする意欲に繋がる。子供たち自身が達成感を味わえるような取り組みを実施し、夢や目標が出来るように最大限のサポートをしていきたい。		
営業時間	(平日) 10:30~18:30 (土曜・祝日) 8:30~16:30 サービス提供時間 (平日) 14:30~17:30 (土曜・祝日) 9:30~14:30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	手洗いや整理整頓、衣類を畳むなどの必要性を楽しく学べるように遊びの中にに取り込み、基本的な生活習慣を形成し健康の維持、改善が必要な生活リズムを身に着ける支援をしていきます。 調理実習などを行い、食に対する興味、調理に対する経験値を増やし食べることへの興味、作ることに興味を促していけるよう取り組む。	
	運動・感覚	外遊びや室内で行える運動（ボールを使った活動など）を行い、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持。強化を図る。 視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚を十分に活用できるような活動を楽しめるように環境を整え遊びを通して支援します。	
	認知・行動	一人ひとりの認知の特性を踏まえ、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用できるような活動（色の見分け、形の見分け、物の重さや音の変化する様子など）を遊びの中に取り入れ、重さ・空間・形・などといった概念の形成を図り認知や行動の手がかりとして活用できるような取り組みをして場所の変化、時間の変化など変化に合わせた考え方、場に合わせた行動が出来るよう支援していきます。	
	言語 コミュニケーション	絵カードや読書などから単語から文章に至る言語形成を理解し、自身の伝えたいこと（表現する力）がつけられることが出来るよう支援していきます。 小集団での遊びを通して周りの子と接する機会を設け、共感する・共有する気持ちを育みその中で場面に合った言葉遣いなどの支援をしていきます。 職員が間に入りながら活動を通して他者とのコミュニケーションの経験値を増やしていきます。	
	人間関係 社会性	集団での活動を通してルール・順番などを楽しく守りながら適切な人間関係形成を促していきます。 他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりなど社会に適応するために必要なソーシャルスキルトレーニングの獲得を支援します。	
家族支援	保護者面談 支援相談員との連携	移行支援	就労先への情報の共有 就労による環境変化などの対応
地域支援・地域連携	各相談支援事業所	職員の質の向上	各研修会の参加 会社・事業所内に置ける講習会
主な行事等	誕生日会 各季節ごとの行事イベント 【餅つき大会・卒業発表会・春の遠足・保護者参加型イベント（保護者会）・プールや水遊び・運動会・秋の遠足・クリスマス会・社会見学・体験】		